

天国と極樂のちがい

よく世間では亡くなると「天国」に行くと言いますが、この「天国」についてどんなイメージをお持ちでしょうか。

みんなニコニコしていて、幸せに暮らしている。そんなイメージかもしれませんが。

仏教では、「天国」のことを「天上」と言います。人間は日頃の行いによって「地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上」を生まれ変わり死に変わります。

と仏教以前から考えられていました。「六道輪廻」と言います。

しかしお釈迦さまは、この生まれ変わりに死に変わりする「六道輪廻」を、私たちが普段から悩み苦しんでいる日常をあらわしたものとしました。

例えば、仕事や人間関係で取り返しのつかない失敗をしてしまうと、あまりの苦しみに眠れず時間の進みも普段とは違います。「地獄」の苦しみを味わ

います。

また、あまりに欲が勝って手に入れないければ気がすまない状態を「餓鬼」と言います。子供のことを「ガキ」というのもここから来ています。

本能のままに行動してしまう時は「畜生」。他人に勝たなければ意味がない心持ちの「修羅」。

やつと周りに他人がいることに気がつくが、その人間関係で悩む「人間」。

そして、地に足がつかず有頂天まで行ってしまうのが「天上」です。

「天上」にあがると天女のようにフワフワと浮かび皆幸せそうに笑っています。しかし必ず降りてきて、地に足がついた途端の苦しみは「地獄」の十六倍以上にもなるのだそうです。(源信僧都『往生要集』)

異性にのぼせ上がっていたのが覚める

と、このようなことになるのでしょうか。

「天上」とは、まだ煩惱の中で迷っている最中なのです。

極樂に生まれよ!

お釈迦さまは、この「六道輪廻」を超えて「極樂浄土」に生まれよ!と、おっしゃっています。

『仏説無量寿経』

「極樂浄土」とは、阿弥陀さまや観音さまがいらつしやつて、お念仏を称えたものはどんな人でも救いと、煩惱の炎をけして必ず「仏」として生まれさせてくれるところ

です。 私たちは今すぐ「仏」になるのはとても難しいでしょう。

しかし、今この瞬間から、お念仏を称えて「仏になる道(仏道)」を歩むことができるのです。

ともにお念仏の生活「仏道」を歩んでいきましょう。

厭離穢土 欣求浄土



永代経について

今年の永代経は、5月7日
(土)に行います。

講師は、浄土宗大本山

増上寺参拝課課長・蟠龍寺副

ばんりゅうじ

住職 吉田龍雄師にお出でいただき「法然聖人とお念仏のいわれ」についてお話しした
きたいと思います。

当寺の宗派は真宗で、宗祖は親鸞聖人です。蟠龍寺は

ばんりゅうじ

浄土宗で、浄土宗の開祖 法然聖人は親鸞聖人の師である方
です。

法然聖人とはどんな方だったのか。浄土宗ではお念仏を
どういただいているのか。い
ろいろお話しいただければと
思います。

法要後は、吉田師を囲んで
懇親会を開きたいと思いま
す。

近くになりましたら、あら
ためてご案内差し上げます。

小学校訪問

先日、地元の小学校「小
中一貫品川学園」の授業に
お邪魔してきました。

四年生の「品川の歴史と
昔の道具」の授業に、近隣
の常行寺友光師と天龍寺浅
野師と一緒に話をしてく
きました。私は、母校でもあ
る品川学園の寺子屋からの
歴史をお話しし、正徳寺で
寺子屋をしていたときの教
科書「論語」を持って行き
ました。生徒たちは漢字だ
らけの教科書にびっくりし
ていました。

また六年生最後の制作と
して、書の一文字で思いを
伝える授業のお手伝いに伺
いました。自分を表す漢字
でしたり、感謝を伝える漢
字一文字を書で表す授業で
した。お子さんによつては
草書・行書の難しい字もあ
りましたが、頑張つて作品
に仕上げていました。

★こども囲碁道場

四月二十四日(日)二時より



★インターネットでも、不定期に行事や
イベントの予定をお伝えしています。

・住職ツイッター @syaku_rikun

・正徳寺ホームページ

Facebook 真宗大谷派日夜山正徳寺

▼ご法事をおつとめになる方は

(1) まず寺に都合をお問い合わせ

ください。

とくに土曜日・日曜日などは

混み合いますので、お早めに

ご連絡ください。

(2) ご法事参加の人数を、ご法事の

一週間前までにお知らせください。

お願い…お葬儀をおつとめになる方は、

日程が決まる前にお寺にご連絡ください。

他の方のお約束が入っており、

先に決められた日程ではお受けできない

場合がございます。

よろしく願いいたします。

★声明会 (お経の練習会)

毎月最終土曜日 午後三時～四時半

要予約 (急な法務等で変更あり)

参加費 500円/回

稽古本「真宗大谷派勤行集」(赤本)

450円

次回は 三月 二十六日(土)

四月 二十三日(土)

五月 二十八日(土)

ご参加される方は、前もつてご連絡
ください。

電話 03 (3471) 3938

shoutoku-ji@pal.dti.ne.jp

■当寺の宗旨は 真宗大谷派です。

■ご本尊は 阿弥陀如来です。

■宗祖は 親鸞聖人です。

■京都駅前通りの烏丸七条にある

真宗本廟 (東本願寺) を本山とします。

■教えの要点は、

阿弥陀如来のすべての人を救うという

ご本願を信じて、南無阿弥陀仏と称えて、

感謝報恩の生活をおくることにあります。